

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年1月18日 (2018.1.18)

【公開番号】特開2016-107058(P2016-107058A)
 【公開日】平成28年6月20日 (2016.6.20)
 【年通号数】公開・登録公報2016-037
 【出願番号】特願2015-169565(P2015-169565)
 【国際特許分類】

A 6 3 H 33/22 (2006.01)

A 6 3 H 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 H 33/22 A

A 6 3 H 5/00 C

【手続補正書】
 【提出日】平成29年12月1日 (2017.12.1)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

演出を出力可能な演出玩具であって、
 所定の空間が形成される本体部と、前記所定の空間内で可動される可動部と、前記本体部に設けられ、前記可動部に向けて発光する発光部と、を備え、

前記可動部は、一方の可動阻止位置まで可動する一方、他方の可動阻止位置に向けて段階的に可動する演出玩具。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記一方の可動阻止位置は、可動範囲内にて前記発光部から最も離間した位置である一方、前記他方の可動阻止位置は、可動範囲内にて前記発光部に最も接近した位置である演出玩具。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、

前記可動部の可動を操作する操作部をさらに備える演出玩具。

【請求項 4】

請求項 3 において、

前記操作部は、第 1 の操作部と第 2 の操作部とからなり、前記第 1 の操作部は、前記本体部に設けた装着部に対し着脱可能である演出玩具。

【請求項 5】

請求項 4 において、

前記可動部は、前記装着部に前記第 1 の操作部を装着することにより、前記一方の可動阻止位置まで可動する演出玩具。

【請求項 6】

請求項 4 または請求項 5 において、

前記可動部は、前記第 2 の操作部を操作する毎に、前記他方の可動阻止位置に向けて段階的に可動する演出玩具。

【請求項 7】

請求項 1 ないし請求項 6 のいずれか一項において、
前記可動部の可動は、前記所定空間内における上下方向の移動であり、
前記可動部による前記一方の可動阻止位置までの可動は、上方向の移動である一方、前記可動部による前記他方の可動阻止位置までの可動は、下方向の移動である演出玩具。

【請求項 8】

請求項 4 ないし請求項 6 のいずれか一項において、
前記本体部は、発音部をさらに備え、
前記発音部は、前記第 2 の操作部を操作する毎に、第 1 の音を発する演出玩具。

【請求項 9】

請求項 8 において、
前記発音部は、前記第 2 の操作部の操作により、前記可動部が前記他方の可動阻止位置に位置した際に、前記第 1 の音とは異なる第 2 の音を発する演出玩具。

【請求項 10】

請求項 4 ないし請求項 6 のいずれか一項において、
前記第 1 の操作部は、複数種用意され、
前記第 1 の操作部の前記装着部への装着により、前記第 1 の操作部の種別毎に異なる演出を出力する演出玩具。

【請求項 11】

請求項 1 ないし請求項 10 のいずれか一項において、
前記本体部の少なくとも一部は、所定の空間における発光を視認可能なように透明又は半透明に形成されている演出玩具。

【請求項 12】

請求項 1 ないし請求項 11 のいずれか一項において、
前記可動部には、前記発光部から発光された光を反射させる反射面が形成され、
前記可動部における前記反射面は、少なくとも一部が曲面に形成されている演出玩具。

【請求項 13】

請求項 1 ないし請求項 12 のいずれか一項において、
前記本体部は、香水瓶を模した形状に形成されている演出玩具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明は、遊戯性をさらに高めることが可能な演出玩具を提供することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明に係る演出玩具は、少なくとも所定の発光により演出を行う演出玩具であって、所定の空間が形成される本体部と、所定の空間内で可動される可動部と、前記可動部に向けて発光する発光部と、前記本体部に設けた装着部に対し着脱可能であり前記可動部の可動を操作する第 1 の操作部と、さらに第 2 の操作部と、を備え、前記可動部は、前記装着部に前記第 1 の操作部を装着することにより、一方の可動阻止位置まで可動する。また、本発明に係る演出玩具は、所定の空間が形成される本体部と、前記所定の空間内で可動される可動部と、前記本体部に設けられ、前記可動部に向けて発光する発光部と、を備え、前記可動部は、一方の可動阻止位置まで可動する一方、他方の可動阻止位置に向けて段階的に可動する。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

また、本発明に係る演出玩具は、前記一方の可動阻止位置は、可動範囲内にて前記発光部から最も離間した位置である一方、前記他方の可動阻止位置は、可動範囲内にて前記発光部に最も接近した位置であってもよい。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

また、本発明に係る演出玩具は、前記可動部の可動を操作する操作部をさらに備えてもよい。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

また、本発明に係る演出玩具は、前記操作部は、第１の操作部と第２の操作部とからなり、前記第１の操作部は、前記本体部に設けた装着部に対し着脱可能であってもよい。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

また、本発明に係る演出玩具は、前記可動部は、前記装着部に前記第１の操作部を装着することにより、前記一方の可動阻止位置まで可動してもよい。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

また、本発明に係る演出玩具は、前記可動部は、前記第２の操作部を操作する毎に、前記他方の可動阻止位置に向けて段階的に可動してもよい。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

また、本発明に係る演出玩具は、前記可動部の可動は、前記所定空間内における上下方向の移動であり、前記可動部による前記一方の可動阻止位置までの可動は、上方向の移動である一方、前記可動部による前記他方の可動阻止位置までの可動は、下方向の移動であ

ってもよい。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

また、本発明に係る演出玩具は、前記本体部は、発音部をさらに備え、前記発音部は、前記第 2 の操作部を操作する毎に、第 1 の音を発してもよい。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

また、本発明に係る演出玩具は、前記発音部は、前記第 2 の操作部の操作により、前記可動部が前記他方の可動阻止位置に位置した際に、前記第 1 の音とは異なる第 2 の音を発してもよい。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

また、本発明に係る演出玩具は、前記第 1 の操作部は、複数種用意され、前記第 1 の操作部の前記装着部への装着により、前記第 1 の操作部の種別毎に異なる演出を出力してもよい。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

また、本発明に係る演出玩具は、前記本体部の少なくとも一部は、所定の空間における発光を視認可能なように透明又は半透明に形成されていてもよい。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

また、本発明に係る演出玩具は、前記可動部には、前記発光部から発光された光を反射させる反射面が形成され、前記可動部における前記反射面は、少なくとも一部が曲面に形成されていてもよい。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

また、本発明に係る演出玩具は、前記本体部は、香水瓶を模した形状に形成されているもよい。